



はなふじ

自分・仲間・夢「かがやく出羽の子ども」を育てる

R7 出羽小学校だより

第4号

令和7年9月22日

山形市立出羽小学校

校長 武田 重泰

児童数 375名

山形七中学区の子どもたちが健やかでたくましく育つために

七中学区『セブン・プライド』について

ようやく秋風を感じながらさわやかに過ごせる日が続くようになった中、保護者及び地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動へ多大なご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本号では、みだしにあるとおり、七中学区『セブン・プライド』の取り組みについてお伝えいたします。この取り組みは、七中学区四校（本校、明治小、大郷小、七中）において、これからの時代と地域を担う子どもたちを七中学区全体で育てることを目的に設けた指針です。具体的な取り組みは、以下の7点になります。

一 学校でも、家庭でも、地域でも、さわやかなあいさつができます。

二 自分と仲間を大切にします。

- 学校はみんなが活躍し、成長できるところだから、「いじめ」はしない・させない・ゆるさない
- 全員が居心地の良い学校をつくります

三 授業に集中し、着実な努力をします。

- 学校は自分が成長できるところだから、学習に全力で取り組みます
- 学習は積み重ねるものだから、「わかる・できる」まで粘り強く取り組みます

四 ルールやマナーを守ります。

- 学校は集団生活の場所だから、身なり・服装をしっかりとします
- リーダー・フォロアーとして、自治的な活動を積極的に行います

五 交通ルールを守ります。

- 一人一人が交通ルールを守り、事故にあわないようにします

六 好き嫌いをなくし、健康で元気に生活します。

七 自分の成長を支えてくれる人や物に感謝の気持ちを持ちます。

- 心を込めた清掃活動をします
- 地域・保護者・先生方への感謝の気持ちを持ちます

実は、このような七中学区四校による志を共にした取り組みには長い歴史があり、現在、校舎内（校長室前廊下）に掲示してある資料（右の画像）で確認しただけでも、1978年、つまり、今から48年前から同様の取り組みをしていたことがわかります。今から50年近く前からの話になりますので、現在の保護者や地域の皆様で、本校を始めとする七中学区四校を卒業されたり、保護者としてご協力いただいたりした皆様には、なじみのある取り組みかと思えます。

児童生徒一人一人が「9年間で育つ力」を身に付け磨きをかけることができるよう、七中学区四校で連携協力を継続していくと共に、保護者及び地域の皆様との密なる連携協力も更に進めていきたいと考えておりますので、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

